

授業改善推進プラン＜英語＞

1 指導目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。

2 平成25年度における考察と課題

- ・実践的コミュニケーション能力の基礎となる語彙力を高めるための活動に継続的に取り組むことができた。
- ・自分の意見を口頭で表現することはできるが、文章として書いて表現すること、正しく書いて表現することが苦手な生徒が多い。

3 平成26年度へ向けての改善のポイント

- ・語彙から文章を組み立てる活動を学年ごとに到達目標を意識させて計画的に実施していきたい。
- ・「書く力」の基礎となる語彙力を高める活動として、単語テストやビンゴなどを継続して行い定着させていきたい。
- ・「聞く力」を向上させるための音読活動を継続して実施していきたい。

4 評価の工夫

観点項目	観点項目の趣旨	おもな評価内容
コミュニケーションへの意欲・関心・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自らコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、積極的に授業に取り組めたか。 ・英語に関心を持ち、課題や提出物に意欲的に取り組めたか。 	課題提出、ALTとの対話 授業観察など。
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持ち、目的や場面に応じて適切な英語で話し、相手に伝えることができるか。 ・自分の考えをまとめ、分かりやすい英語の文章を書くことができるか。 	授業内の表現活動、スピーキング活動、ALT面接、定期考査など。
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の文章を読み、内容を理解し、書き手の意図をくみ取ることができるか。 ・話し手の英語を正確に聞き取り、理解することができるか。 	リスニングテスト、ALT面接、定期考査、授業観察など。
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の文法や、語句についての基礎的な知識を身に付けたか。 ・外国の文化や慣習について理解し、様々な言語活動に生かすことができたか。 	小テスト、定期考査など。